

事業概略書

介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

- ①介護福祉士養成課程新カリキュラム教育方法の手引き（A4版 137頁）
- ②介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会のあり方と教育内容等について（A4版 86頁）

事業目的

介護福祉士養成課程のカリキュラムについては、平成29年度に改正が行われ、平成30年度を周知期間とし、平成31年度より順次、新カリキュラムの導入が予定されている。

また、第13回社会保障審議会福祉部会福祉人材確保対策専門委員会において「介護福祉士養成課程における教育内容の見直し」について報告されたところであるが、今後取り組む事項として、①教授方法や教育実践の事例を含めて教育内容の提示、②体系的な教育実践の必要性（カリキュラムマップやカリキュラムツリーの活用方法の検討）、③習得すべき知識や技術の評価指標作成の取り組みの必要性が意見として示されている。

これらを踏まえ、新しいカリキュラムを効果的に実施し、介護福祉士養成教育における教育の質の向上を図るために、効果的な教授方法の実践研究を行い、養成課程において身につけるべき知識や技能の検討を踏まえた上で、養成課程において教授すべき「想定される教育内容の例」を含めて教育の手引きの作成を行うことが、本研究の目的である。

事業概要

1. 新カリキュラムに即した教育の手引きの作成

求められる介護福祉士像の実現に向けて、新しいカリキュラムの「領域の目的」、「科目の教育内容のねらい」「教育に含むべき事項」「留意点」を踏まえ、これらを教授するための「教育内容の例」について見直しを行った。

例示した想定される教育内容について、どのように教授するかという教授法が課題としてあげられ、各領域から数科目を選択し、科目を担当する教員に授業計画とその展開例の提示を依頼し全体を整理した。

また、効果的な教育実践のためには、科目間の関連性や順次性に考慮した体系的な教育が求められており、カリキュラムマップやカリキュラムツリーの活用が必要が指摘されていた。しかしながら、カリキュラムマップやツリーが作成されている学校は少なく、作成していても活用されていないことが分かった。今後、新カリキュラムに即したカリキュラムマップの作成が必要となるが、本調査研究においては資料として大学と専門学校の例を示した。

2. 教育の質の向上のための介護教員講習会教授内容の検討

当協会で作成された「介護教員講習会における科目の教育内容に関する講義内容（平成21（2009）年12月13日）」をもとに、目標、講義内容の見直しを行うとともに、より具体的に講義の意図・内容・教授方法、ポイント等の検討を行い、科目ごとの留意点を明記した。

同時に、講習会の実施方法、科目の構成・時間数、授業スケジュール（流れ）、実施・運営体制等についても受講者及び講師経験者からのアンケート調査から課題を抽出し、今後のあり方や見直すべき事項等についてとりまとめを行った。

調査研究の過程

1. 全体会議

第1回 平成30年 8月14日

- (1) 「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研委員会」について
- (2) 「手引き作成作業部会」について
- (3) 「介護教員講習会の見直し作業部会」について
- (4) 「介護福祉士養成課程における修得度評価基準の策定等に関する調査研究事業」について

第2回 平成31年 1月20日

- (1) 手引き作成作業部会について
- (2) 介護教員講習会の見直し作業部会について

第3回 平成31年 2月25日

- (1) 介護福祉士の教育内容見直しを踏まえた授方法等に関する調査研究事業について
- (2) 手引き作成作業部会について
- (3) 介護教員講習会の見直し作業部会について

2. 手引き作成作業部会

第1回 平成30年 7月 3日

- (1) 「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研委員会」について
- (2) 「手引き作成作業部会」について

第2回 平成30年 8月 2日

- (1) 「想定される教育内容の例」について

第3回 平成30年 8月14日

- (1) 「想定される教育内容の例」について

第4回 平成30年 9月 8日

- (1) 「想定される教育内容の例」について

第5回 平成30年 9月 9日

- (1) 「想定される教育内容の例」について

他、領域「介護」担当者に委員による打合せ会を3回（平成30年9月1日、9月2日、平成31年2月7日）開催

3. 介護教員講習会の見直し作業部会

第1回 平成30年11月17日

- (1) 「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査

研委員会」について

(2) 「介護教員講習会の見直し作業部会」について

第2回 平成30年12月23日

(1) 介護教員講習会の科目の内容、留意点の見直しについて

第3回 平成31年 3月17日

(1) 報告書の構成について

(2) 介護教員講習会の科目の内容、留意点の見直しについて

他、介護教員講習会の見直し作業部会打合せ会を2回(平成30年7月30日、11月17日)開催

事業結果

1. 新カリキュラムに即した教育の手引きの作成

(1) 事業結果

この研究の目的は新カリキュラムにおける効果的な教授方法の実践研究を行うことであった。その方法として①想定される教育内容の研究及び教育内容例の提示、②効果的な教育実践の研究、③カリキュラムマップ等の活用方法の3点の検討ということで、新カリキュラムの全体像を提示することにあつた。

まず、求められる介護福祉士像の実現に向けて、新しいカリキュラムの「領域の目的」、「科目の教育内容のねらい」「教育に含むべき事項」「留意点」を踏まえ、これらを教授するための「教育内容の例」について見直しを行った。作業部会において議論し、その過程で数名の専門家によるネガティブチェックを重ね、全体会議において提案し確認を行い、「想定される教育内容の例」を完成させた。

今回の新カリキュラムの見直しを、具現化していくための第一歩として、教育内容の例とともに、各領域に配置される科目の、授業計画や事業の展開例を示した。また、体系的に介護福祉士養成教育を展開するための一つのツールとして、カリキュラムマップの活用が示された。

(2) 今後の課題

今後、これらの展開例をもとに、教育実践の研究や教育研究をさらに積み上げていくことが必要である。「求められる介護福祉士像の実現」のみならず、どのような学生を育てるのかといったディプロマポリシーとあわせての可視化が、教員間の連携のみならず、学生の主体的な学びに必要であり、カリキュラムマップの活用についても、今後も検討していく必要がある。

2. 教育の質の向上のための介護教員講習会教授内容の検討

(1) 事業結果

この研究の目的は、カリキュラム改正を踏まえた教授の視点や力が求められることとなる介護福祉士養成施設等の専任教員に、講義において踏まえるべき、あるいは留意すべき点をより具体的に示すよう検討を行うとともに、介護教員講習会の枠組みそのものについて今後のあり方等を提言することにあつた。

まず、現在の介護教員講習会の状況を把握するため、平成28～29(2016～2017)年度、に当協会実施の2会場で行われた科目別の受講生アンケートと、当協会他3実施主体の講師経験者へのアンケートの分析を行った。

つぎに、各科目の目標、講義内容の見直しを行うとともに、より具体的に講義の意図・内容・教授方法、ポイント等がわかるように新たに留意点を明記した。

同時に、講習会の実施方法や科目構成、科目ごとの時間数、実施体制等につい

ての課題を抽出し、今後のあり方等についてとりまとめを行った。

(2) 今後の課題

今後の介護教員講習会は、教育歴も実務経験も様々な受講者層を踏まえた上で、介護福祉士養成教育に携わるための教員研修として、教育内容や科目ごとの時間をさらに丁寧に見直す必要がある。

また、介護教員講習会が介護福祉士養成教育に携わる教員ための研修であることから、その後のフォローアップ研修や、新人教員への研修をさらに検討していく必要がある。

事業実施機関

公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-6-14 三久ビル7階
電話 03-5512-4745